

鞆町のまちづくりに係る 住民説明会資料

平成31年2月1日
広島県

本日の説明項目

鞆町の今後のまちづくりを支える行政の取組

- これまでの取組内容
 - 町中交通処理対策
 - 高潮対策
 - 土砂災害対策
- 今後の取組内容
 - 山側トンネル
 - 東西の交通・交流拠点
 - 港湾施設
 - まちづくり基金

鞆町の今後のまちづくりを支える行政の取組

- 町中交通の安全確保
- 東西の交通・交流拠点の確保
- 高潮対策や土砂災害対策等の防災対策



鞆町の今後のまちづくりを支える行政の取組

■町中交通の安全確保

- トンネル整備により、町中の交通量を削減し、安全な交通を確保します。
- 江之浦～焚場間の狭隘区間の拡幅や無電柱化等により、生活交通の利便性を向上させます。

■東西の交通・交流拠点の確保

- 周辺への駐車場や海の駅などの交通・交流拠点の整備により、観光交通を誘導するとともに、地域のにぎわいづくりに貢献します。
- 港湾施設の整備により、港湾利用者の利便性や安全性の向上を図ります。

■高潮対策や土砂災害対策等の防災対策

- 高潮対策や砂防、治山などの土砂災害対策等を早期に行い、安全・安心な暮らしを確保します。
- 東西の交通・交流拠点は、福山市と連携し、防災拠点としての活用を検討します。

これまでの取組内容

現在取り組んでいる事業【町中交通処理対策】



待避所の確保



江之浦～焚場間の道路機能の確保



無電柱化(県道福山鞆線)



広島県営鞆町鍛冶駐車場
(駐車可能台数230台)

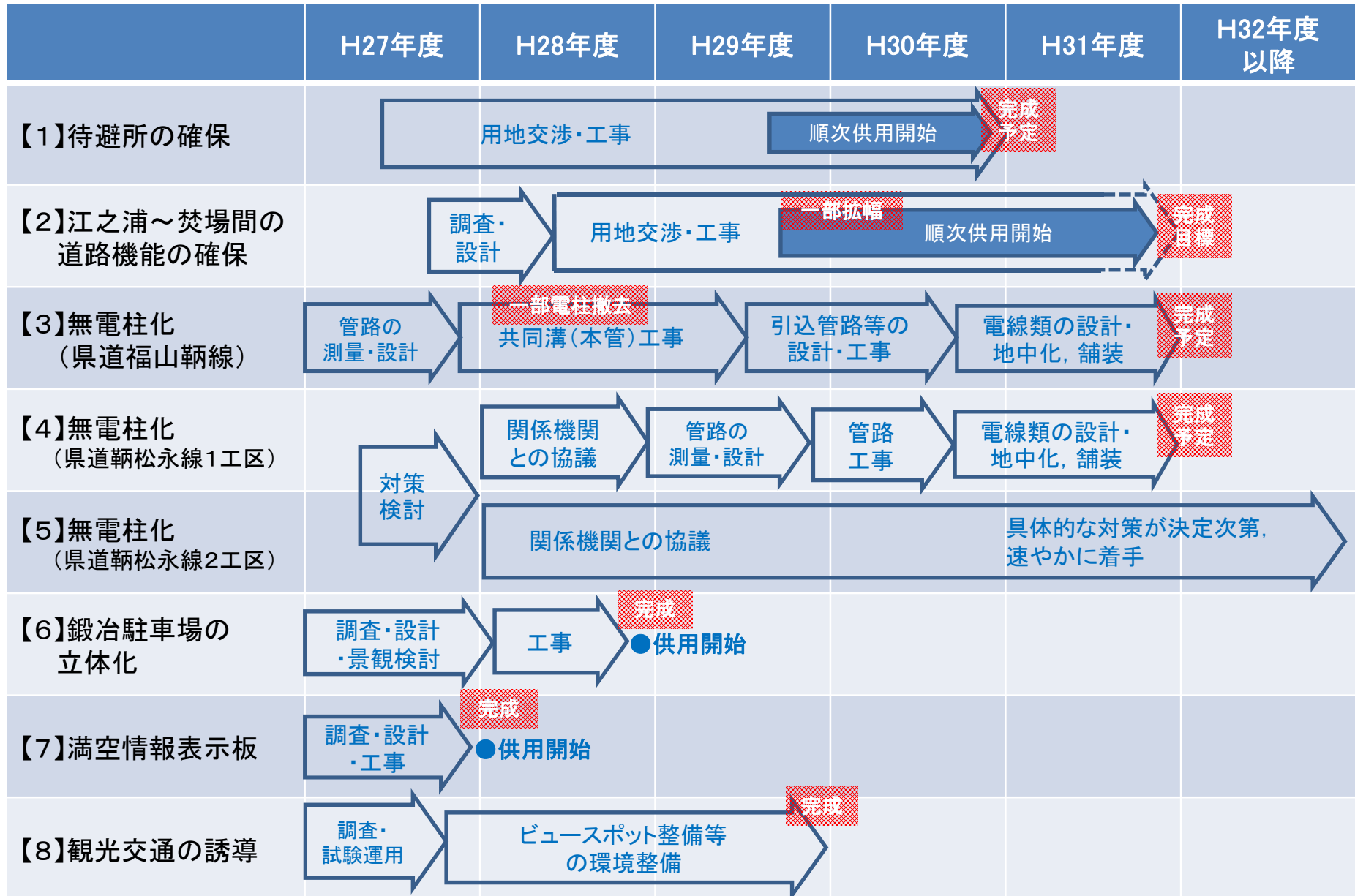


満空情報表示板
(広島県HPでも情報を提供)



ビュースポットの整備(グリーンライン)

町中交通処理対策[これまでの取組と今後の工程]



現在取り組んでいる事業【高潮対策】

①



平成30年3月一部完成

西町・道越地区(雁木復元)

②



平成30年10月一部完成

西町・道越地区(起伏式ゲートの整備)

③



計画イメージ

西町・道越地区(県道交差点付近のイメージ)

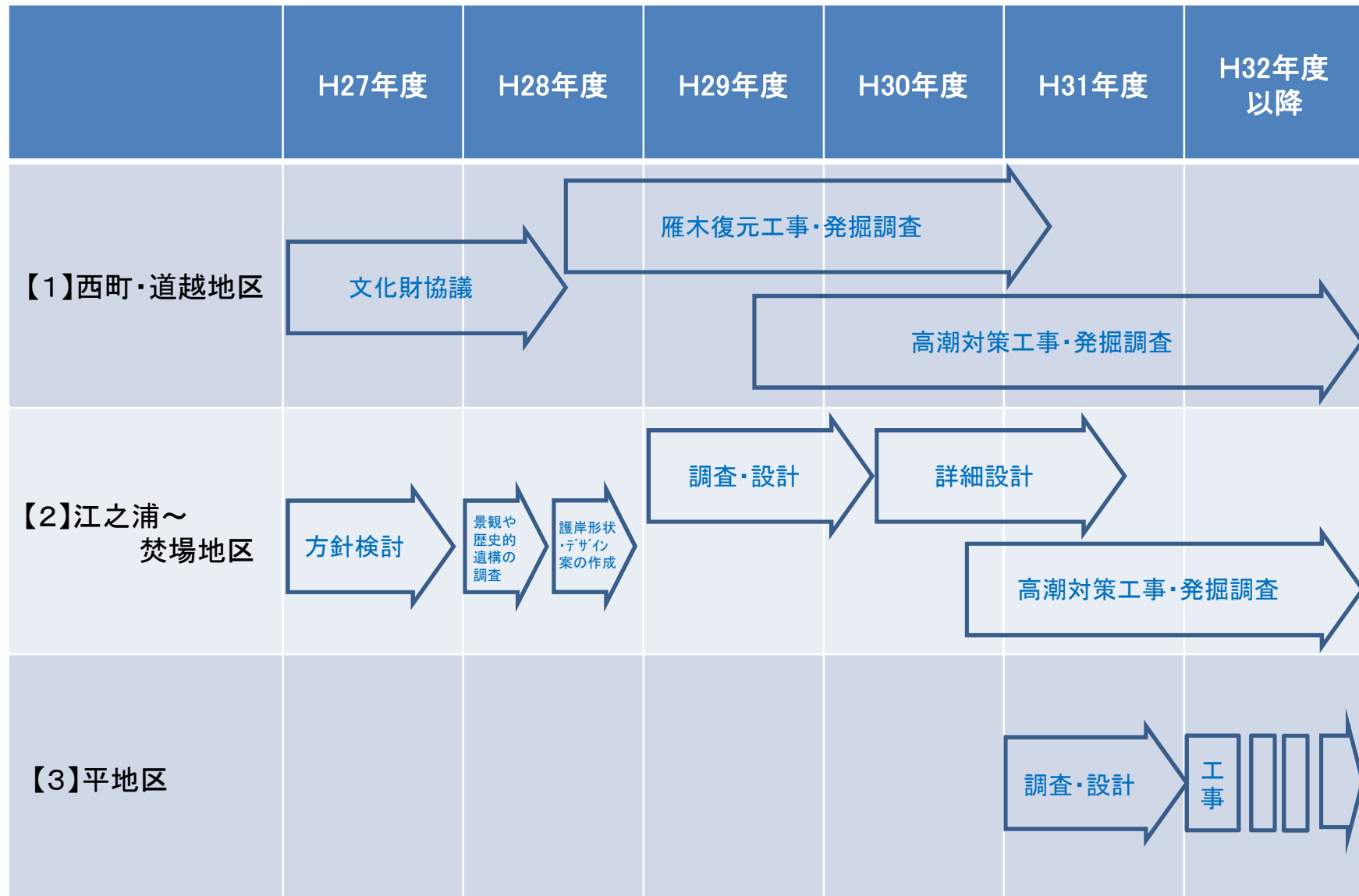
④



計画イメージ

江之浦～焚場地区(焚場付近のイメージ)

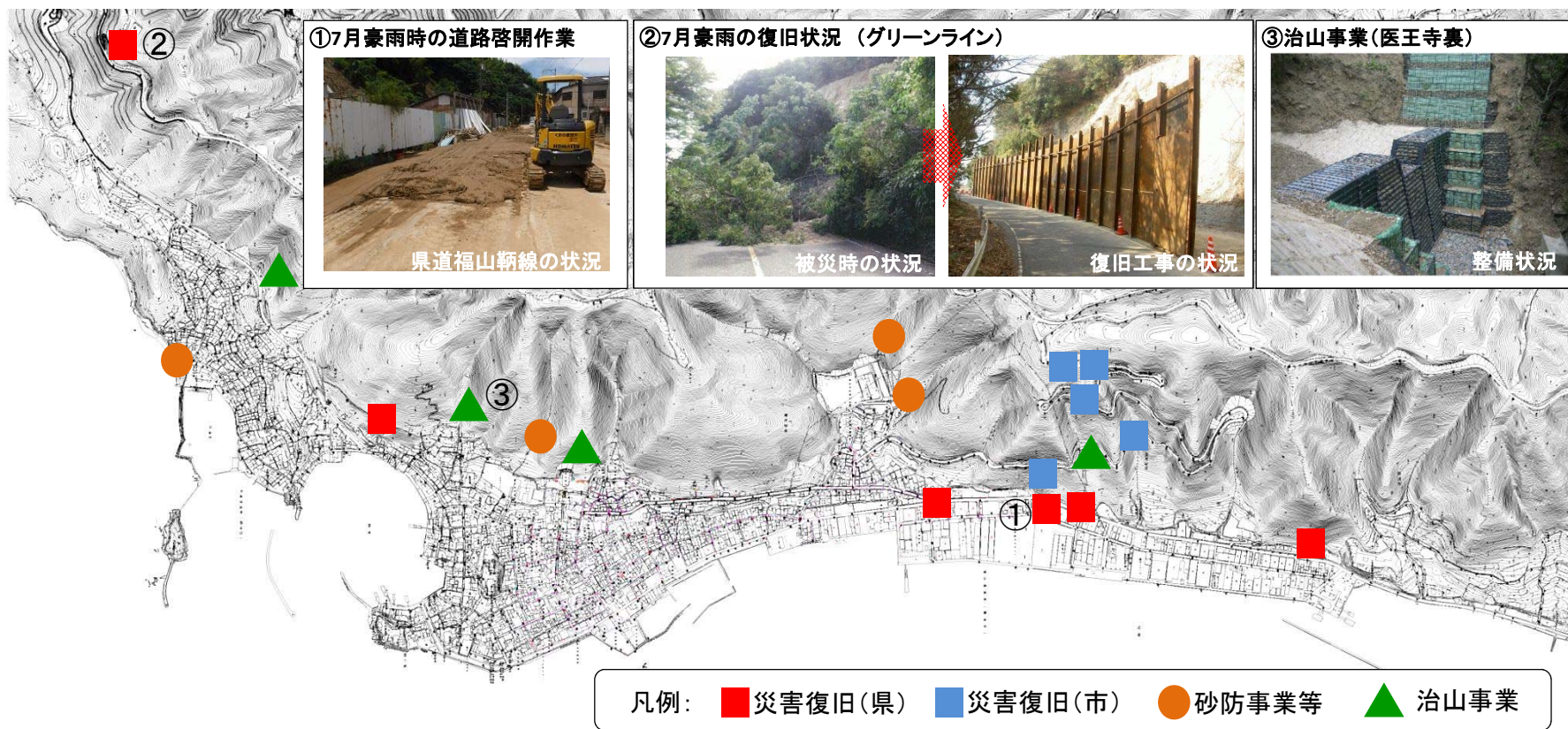
高潮対策[これまでの取組と今後の工程]



土砂災害対策

- 7月豪雨により発生した土砂流出などについては、道路啓開や仮復旧などを迅速に進め、早期に道路機能の確保を行いました。
- 7月豪雨により被災した施設の早期復旧に努めています。
- 砂防や急傾斜地崩壊対策事業、治山事業などを早期に進め、安全・安心を確保します。

土砂災害対策事業箇所図



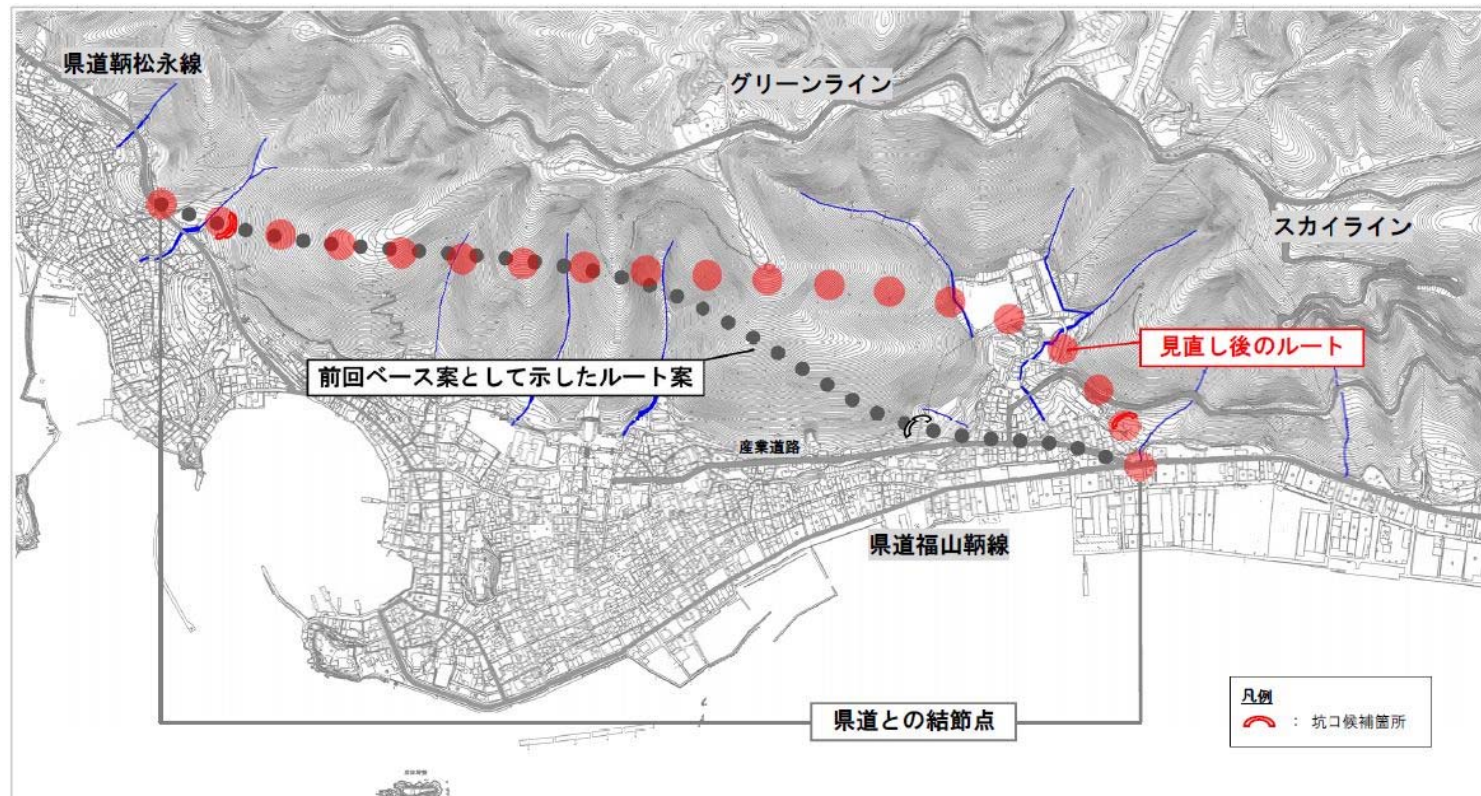
今後の取組内容

山側トンネル

山側トンネルのルートについては、周辺環境への影響などを懸念する住民の皆様方からのご意見を踏まえ、前回ベース案としてお示したルート案の見直しを行いました。

【見直し後のルートの考え方】

- ①福山側は産業道路ではなく県道福山鞆線に直接接続することで、周辺環境へ配慮する。
- ②県道接続位置は、ベース案とほぼ同様、産業道路と県道福山鞆線の交差点付近とすることで、町中交通量の削減効果を確保する。



【見直し後のルート概要】

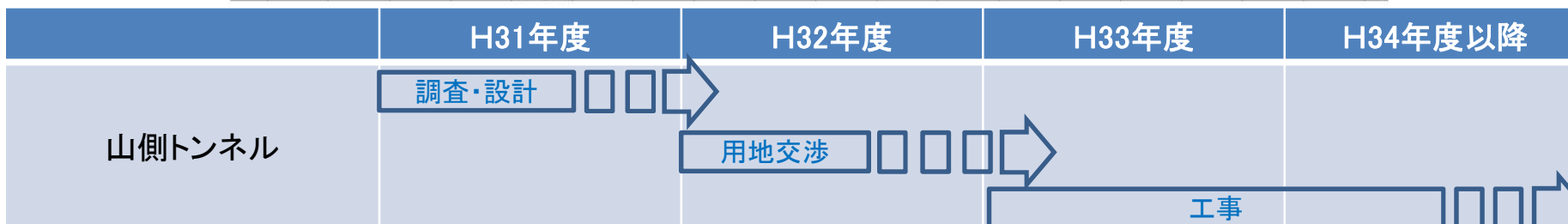
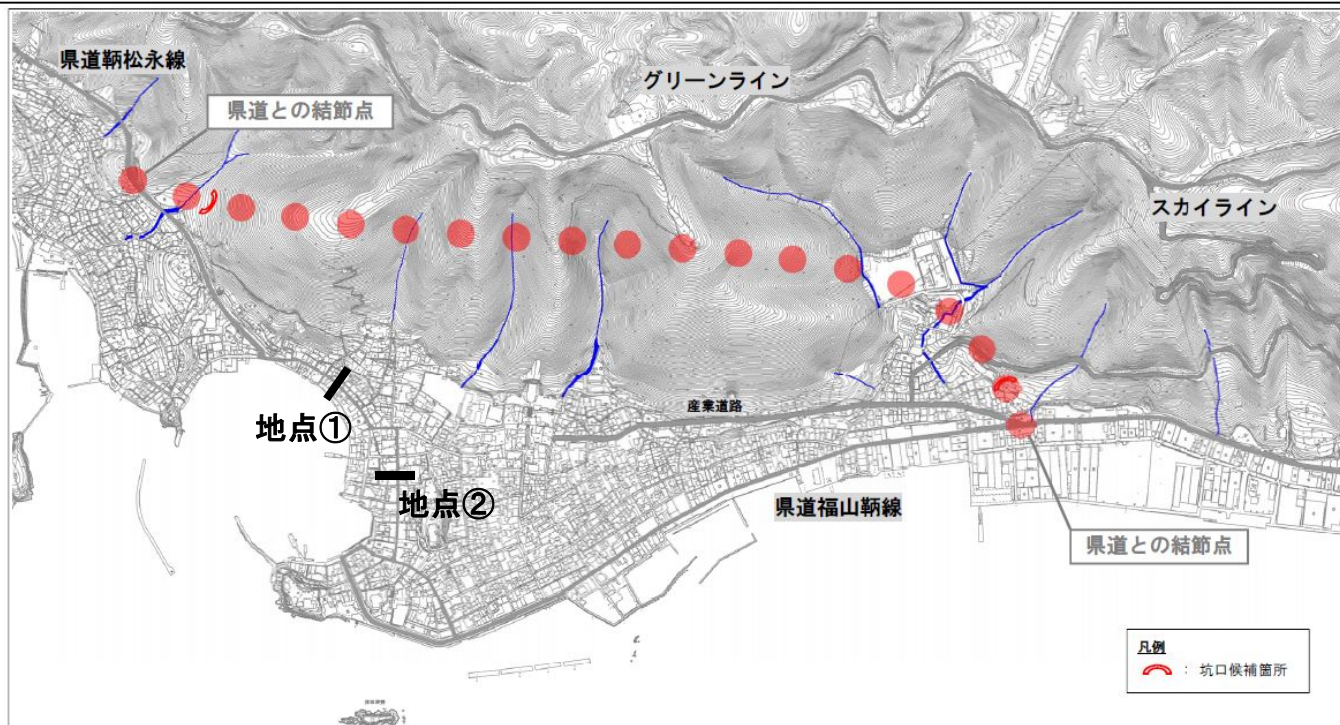
○バイパス延長:L=約2.1km うちトンネル延長L=約1.9km

○概算事業費:約60億円

○町中交通量の削減効果:

地点①約3,600台/日⇒約800台/日, 地点②約2,700台/日⇒約1,300台/日

[地点②において, 福山方面への一方通行規制を行うと, 更に約300台/日がトンネルへ転換見込み]



東西の交通・交流拠点

- 交通・交流拠点機能を強化することで、観光交通等の町中への流入を抑制し、県道の渋滞緩和を図ります。
- また、バスやグリーンスローモビリティなどの発着地点として利用できるとともに、にぎわい拠点や防災拠点として活用できることから、福山市のまちづくりとの連携を図ります。
- なお、西側の交通・交流拠点の整備にあたり、移転が必要となる施設については、移転場所を平地区に確保するとともに、福山市と連携して、防災施設や公園・広場などの総合的な対策を検討します。



グリーンスローモビリティ
(小型の電気自動車)



東側の交通・交流拠点(イメージ)



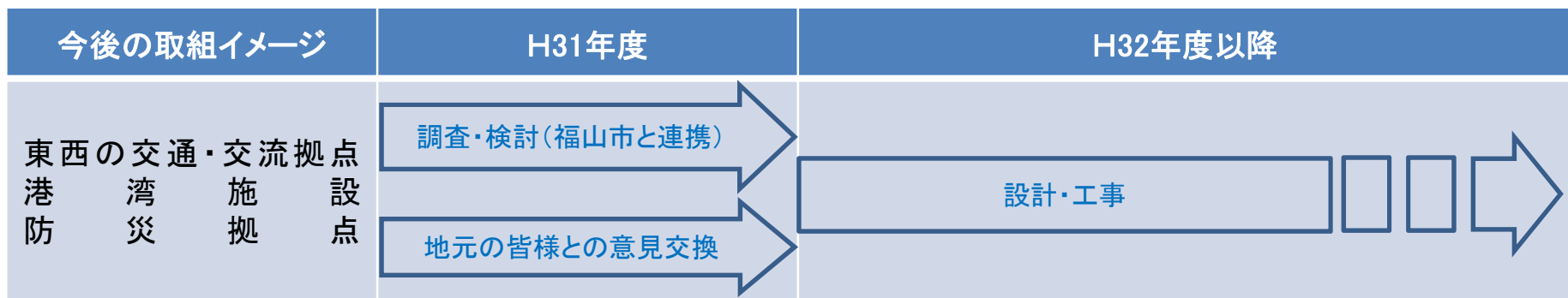
西側の交通・交流拠点(イメージ)

港湾施設

- 小型船だまり埠頭やフェリー埠頭の整備により、港湾利用者の利便性や安全性の向上を図ります。
- 港湾利用者や関係機関と協議・調整を行い、必要な施設の規模や位置などの検討を進めています。
- 福山市と緊密に連携し、地元の皆様方のご意見を伺いながら、実施に向けた検討を進めてまいります。



整備事例・小型船だまり(大崎上島町)



まちづくり基金

- 現状
 - ・平成27年5月、広島県が「福山市鞆町歴史的町並み保存基金」へ5億円拠出
 - ・基金は、重要伝統的建造物群保存地区内の建造物等の修理・修景に活用
- 今後の取組の方向性
 - ・鞆の歴史・伝統文化などの価値を未来に継承するための事業に基金を充当するとともに、広く国内外の鞆の価値に共鳴する方々に対して県・市連名で寄附を呼びかけます。
 - ・寄附金の具体的な用途は、今後、福山市と連携し、地元の皆様方とも協議しながら進めてまいります。

【寄附募集の概要】

| 項目 | 内容 |
|------------|---|
| 手法 | 専用ウェブサイトにより、広く国内外へ情報発信 |
| 目標額 | 6億円(事務経費を含む) |
| 募集期間 | 概ね10年間(目標額に達するまで継続) |
| 寄附金の用途の考え方 | 鞆の歴史的な価値や伝統文化、江戸時代からの町並みや景観を未来に継承するための施策に活用 ・重要伝統的建造物群保存地区内の建造物等の修理・修景に対する補助(実施中) ・鞆町内の町並み保存に係る取組や鞆の歴史的価値の情報発信に対する支援(新規) ・鞆の伝統文化を継承していくための取組に対する支援(新規) |

鞆町の今後のまちづくりに向けた取組方針

- 地元の皆様方が、鞆の歴史と文化に誇りを持ち続け、安心して生活を送ることができるまちづくりの実現に向け、地域のさまざまな取組を下支えします。
- 引き続き、地元の皆様方のご意見を伺いながら、福山市と連携・協力し、必要なハード・ソフト対策について、全力で取り組んでまいります。